



水と緑 人のいきかう 高島市



たかしま

Takashima

2008
6.1
平成20年
No.68



5月3日「高島市ちびっこMTBフェスタ」キッズレースで

- 特集1 ②-⑤ 稲作農家の挑戦を 生きものが評価
- 特集2 ⑥・⑦ 一人ひとりの人権が尊重される地域社会へ

- ⑧・⑨ お知らせ拡大版
- 10 みんなで5・7・5
- 11 市長日記・省エネ長者作戦
- 12・13 まちネタ写真館
- 14 健康生活していますか?
- 15 びょういんだより

- ⑯ 教育委員会 information
- ⑰ 国保年金あらかると
- ⑱-㉑ 情報おしらせ版
- ㉒ そうだ図書館に行こう♪
- ㉓ 窓口・納税
- ㉔ 歴史散歩

広報たかしま

(平成20年6月1日号)

第68号

■発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
〒522-0150 滋賀県高島市新旭町北畠565番地 (07440)81-30

http://www.city.takashima.shiga.jp
t-info@city.takashima.shiga.jp

JR新旭駅周辺一帯の南北約700m×東西約500mの範囲に広がる堀川遺跡では、これまでの調査で弥生時代（1世紀）から鎌倉時代（14世紀）にかけての建物跡などが多数見つかっています。高島市教育委員会では、平成19年度に市道新庄木津線道路改良事業に先立ち、遺跡の北西部の発掘調査を実施しました。

調査地の地名は「里田」と呼ばれ、室町時代中頃（14世紀末～15世紀初頭）に作成されたと考えられている「木津莊引田帳」に記されている「淨土寺」と呼ばれているお寺が、この地にあったことが推測されました。

調査の結果、調査区の南側で平安時代後半（12世紀前半）のお墓や平安時代末から鎌倉時代にかけての建物跡や井戸跡が見つかり、当時の集落の一端が明らかになりました。

▶見つかったお墓跡と建物跡

石鍋は滑石製の約8×10cmの破片で、表面にはススがついていて、両端は鋸のような工具で切断されています。この石鍋の破片について、何人かの研究者から「懷石」でないかと指摘されています。この石鍋の破片は本来、温石で腹部を暖めるのと同じ程度に空腹をしのぐ簡素な料理のこととされています。

今回の堀川遺跡の発掘調査でわかったことは、ほんのわずかですが、

今後の調査の積み重ねによって古代末から中世にかけての村の様子や人々の暮らししがより明らかになっていくことでしょう。（文化財課）

▼毎朝、迎えのバスを泣きながら待っていた園児も、もうすっかり笑顔に。山萌える季節は「子どもたちもぐんぐんたくましくなっていきますね。」
▲今月の表紙は、「ゴールデンウイーク」に行われた「箱館山マウンテンバイク大会」での未就学児限定の自転車レースの様子をご紹介しています。
子どもからお年寄りまで、年齢・性別を問わず幅広く利用され、生活の中で最も身近な乗り物である自転車。子供の頃はあんなに乗り回していたのに、大人になるとすっかり縁遠いモノに。歩きでは絶対に行けない距離を、車では通れない細い道をスイスイ進める快適さ。その分を自分で帰らなければならぬ厳しさ。

年齢とともに、後者の存在感は増していきますね。環境にも家計にも優しく、健康づくりにも最適な自転車。長い間、運動らしい運動をしていい我が家エンジンに火を点すのは、メタ・ボの宣伝かも。（広報担当）



調査では、かわらけ、信楽焼こねとともに石鍋が一点出土しています。鉢、灰釉陶器、磁器、砥石、鉄釘等



残念ながら今回の調査で「淨土寺」の存在を裏づける14世紀末の遺構は見つかりませんでした。しかし、周辺には「中淨土寺」「下淨土寺」「西淨土寺」「四天石」などのお寺に関する地名が残っていることから、今後、これらの地域で「淨土寺」の跡が見つかる可能性が考えられます。

調査では、かわらけ、信楽焼こね

ととともに石鍋が一点出土しています。鉢、灰釉陶器、磁器、砥石、鉄釘等



くつきの森のハンカチノキ。
薰風に揺れる姿はまさに…。

歴史散歩

～平成19年度堀川遺跡発掘調査成果から～

No.42

編集後記